

SUPERBIKE EXtra, EXpert and EXtreme EXPRESS--

SUGO SUPERBIKE 120 miles ENDURANCE RACE



JSB 1000
JAPANESE SUPERBIKE CHAMPIONSHIP

QUALIFYING PRACTICE REPORT & INTERVIEW

自身の持つ記録タイムを更新してポールポジションとなった中須賀克行

絶対王者として君臨する中須賀克行が コースレコードを更新し10戦連続ポールポジション! 虎視眈々とすきを伺う渡辺一樹、津田拓也

セミ耐久で行われるようになって今年で4年目を迎えるSUGOラウンド。120マイル(約194km)、52周という長丁場のレースとなる。今シーズンは、JSB1000クラスの開幕戦となった鈴鹿ラウンドも200kmのセミ耐久で行われており、第4戦オートボリスが熊本地震で中止になったこともあり、3戦中2戦がセミ耐久というシーズン前半戦となっている。今年もライダーは、1人でも2人でもOKだが、トップチームは、ほとんど1人で走る体制で臨んでいる。

事前テストから不安定な天気となり、ドライコンディションでの走行が少ないまま公式予選を迎えていた。SUGOは、昨年アスファルトの張り替えがあり、当初はグリップの高い路面となっていた。実際、中須賀は、昨年の決勝でコースレコードとなる1分27秒200をマークし、事前テストでは非公式ながら1分26秒台で周回するほどだった。今年は路面グリップが落ちており、タイムも下がってきていたが、中須賀は、事前テストから、現在の路面コンディションに合わせたセットアップを進めてきた。予選でも序盤は、決勝を見据えた確認を行い、セッション終盤にアタック。ただ一人、1分26秒台に入れ、自らのコースレコードを更新しポールポジションを獲得した。「予選は、予定通り決勝に向けたセットアップを行いながら、最後にアタックをしました。チームのおかげで、いいマシンになってきていますし、後はレース

を待つのみです。ル・マン式スタートは、こここのところ出遅れることが多いですが長丁場のレースなので、序盤は周りのペースを見ながら落ち着いてレースメイクして行きたいですね」と中須賀。

2番手には、ようやくニューマシンが仕上がってきたTeam GREENの渡辺一樹が1分27秒258という好タイムが続いた。「マシンが新型になって、やっとベースセットが決まり、自分のセッティングに踏み込んできたところです。レースは長いですし、バックマーカーのかわし方がレースの行方を左右するかもしれないので、しっかり対処して行きたいですね。マシンは、今シーズン一番いい状態なので、ベストリザルトを残したいですね」と渡辺。

フロントロウ最後の3番手には、ヨシムラの津田拓也がセッション序盤に出した1分27秒519で食い込んだ。「事前テストから天気がよくなかったのですが、その中で常に決勝を見据えてマシンを仕上げてきました。予選でも、どうしても試しておきたい課題があったので、終盤にタイムアタックはできなかったのですが、いい方向に進みましたし、結果的に3番手だったので悪くはないです。マシンはうまくまとまってきたので、序盤はしっかりトップグループにいたいですね」と津田。

4番手の柳川明、5番手の野左根航汰も1分27

秒台に入れており、トップグループに加わって来そうだった。柳川は、予選で大きく変えたセッティングがいい方向に進んだと語っていたが、セミ耐久となった、ここ3年は完走できていないだけに、しっかりチェッカーフラッグを受けたいところだ。野左根は、予選セッション終盤にSPインコーナーで転倒。マシンは大きなダメージを負ってしまい、スベアマシンで決勝に臨むことになるという。決勝日朝のウォームアップ走行で、いいフィーリングになれば上位に食い込んできそうだった。また、Honda勢最上位となる6番手には、TOHO Racingの山口辰也が1分28秒051で入っている。ただ、金曜日からマシンに問題を抱えており、スタッフは、夜中まで作業し、考え得るパーツを交換したが、予選で完全に直っていなかったと言う。問題が解決できればトップ争いに加わってくる可能性はあるだろう。

7番手の高橋巧は、今シーズンより変更した足回りが、うまく決まらず苦悩のレースが続いている。8番手の加賀山就臣、9番手の中富伸一もマシンセットがもう一步決まらない状態だ。

ル・マン式スタート、ピットインシタイヤ交換とガスチャージを行うセミ耐久で争われるだけにライダーの速さだけではなく、チームの総合力も問われる。SUGOスーパーバイク120miles耐久レースを制するのはゼッケン1か!? それとも番狂わせはあるのか!?



ISB 1000
ALL JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP

**ポールポジション:1分26秒801 R
#1 中須賀克行
YAMAHA FACTORY RACING TEAM**

『事前テストから不安定な天候だったので、周りがどんなペースで走るのが分かりませんでした。予選はウエット宣言が出されてタイヤ本数制限がなかったの、ニュータイヤを使ってタイムを出していたライダーもいたみたいですがレースウィークに入れば、やはりタイムを詰めてきました。レースは、52周と長いので、いいアベレージで走れるようにマシンを仕上げてきました。今回も、いい流れできているので連勝記録を9から10に伸ばせるように、結果にこだわって、勝ちにこだわって行きます』

JP 250 Presented by DUNLOP

**山本剛大(インター)、
前田龍哉(ナショナル)が
それぞれ優勝を飾る!**

25日(土)朝一番に行われたJP250クラスMFJカップシリーズ第3戦の公式予選。シリーズ開幕戦筑波でポールポジションだった山本剛大が、まだ雨の残るコンディションの予選から他を圧倒するタイムで連続ポールポジションを獲得。2番手のチームメイト兵藤龍之介とは1.5秒の差があるものの1-2ポジション、3番手にはナショナルライセンスの前田龍哉が入り、続いて仲村優佑、森俊也、南本宗一郎が2列目に並び予選結果となった。

ドライへと変わった決勝レースでも山本は絶妙なスタートを切り、オープニングラップからレースをリードする。2番手との差は、1周目にコンマ8秒、2周目には早くも2.5秒と差は広がるばかり。その後ろでは兵藤を先頭に南本、仲村、阿部徹郎、前田らが集団を作りバトルを展開する。そのバトルを尻目に山本は1分45秒台のペースでリードを広げ、結局9秒以上の大差を付けて2連勝を飾った。

2位争いは、最終ラップにかけて激しさを増していったが、そのバトルを制したのは南本。次いで阿部、兵藤の順でチェッカーを受け、仲村が最終コーナーのアクシデントで大きく遅れ、2位争いの集団からは遅れていた前田が5位に入り、ナショナルクラスでの優勝となった。

**QUALIFYING & RACE
REPORT & RESULT**



決勝正式結果(上位15位)

●6月25日(土) 予選・決勝 天候/晴 路面/ドライ 出走39台

Pos	No	Cls.	Rider	Team	RaceTime
1	21	1	山本 剛大	TRICKSTARRacing	17'45.137
2	55	1	南本 宗一郎	アケノスピード・YAMAHA	17'54.550
3	8	1	阿部 徹郎	PJ1・あべスピヤマ&ガレ	17'54.588
4	111	1	兵藤 龍之介	TRICKSTARRacing	17'54.740
5	30	N	前田 龍哉	伊藤レーシングGMDスズカ	18'05.410
6	63	N	武佐 英典	DogFightRacing	18'09.701
7	20	N	笠井 悠太	TEAM TEC2	18'09.937
8	19	1	中川 実	モトバム	18'10.307
9	35	N	小椋 華恋	キジマKISSレーシングチーム	18'10.716
10	2	N	田中 敬秀	7CエムズホームMM=NTR	18'11.000
11	92	1	森 俊也	racing ライドスポーツ	18'11.415
12	31	N	横山 尚太	RT森のくまさん佐藤塾&L8	18'11.578
13	17	1	新垣 敏之	DARA 虎の穴+YSP横浜南	18'11.639
14	61	N	折川 翔馬	DOGFIGHT RACING	18'12.053
15	15	1	清水 保	スパイク&マーキュリー+アイデア	18'16.833

SUPERBIKE EXPRESS 2016 VOL.5 SUGO 120MILES ENDURANCE RACE...J-GP2 CLASS...

J-GP2
ALL JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP
QUALIFYING PRACTICE
REPORT & INTERVIEW

**生形秀之が逆転で2戦連続ポールポジションを獲得!
「マシンも良いし、今回はしっかり走って優勝したい」**



生形 秀之

ライン上はドライとなったJ-GP2クラスの公式予選は、セッション序盤から火花散る激しいものとなった。浦本修充が1分31秒173でトップ、関口太郎、岩崎哲朗、日浦大治朗、水野涼、生形秀之らが31秒台でひしめく。中盤にかけて生形が31秒034でトップを奪うが、浦本は30秒835とレコードタイムを伺いつつ再びトップに。そして翌周30秒756、翌々周には30秒492をマークしてレコードタイムをブレイクした。さらに日浦も30秒718まで上げてきた。

一旦ビットに入った生形は、終盤のアタックで30秒338をニューレコードをマーク、トップを奪い返す。しかし、こちらも再びコースインして最後のアタックに向った浦本も30秒331と生形のタイムを僅かに上回ってトップを奪還。ここでタイムアップかと思

われたが、チェッカーの周回で生形が30秒297を叩き出し、大逆転で前回もてぎに続くポールポジションを獲得した。3番手に日浦、以下関口、水野、中盤にタイムアップしてきた井筒仁康と続く。



浦本修充



**ポールポジション:1分30秒297 R
#2 生形秀之
エスパルスドリームレーシング**

『前回の結果(マシントラブルでリタイア)を受けて、いろいろ見直してきました。テストから天候には恵まれていませんが、いざ走ってみたらフィーリングはとても良かったので、安心しました。前回のポールはソフトタイヤだったのですが、今回は決勝用で狙ってこうと決めていましたので、最後の最後でベストが出て良かったです。決勝レースに向けては、マシンは良く仕上がっていると思いますので、自分自身しっかり走って、優勝したいですね』

ST 600
ALL JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP
QUALIFYING PRACTICE
REPORT & INTERVIEW



岩戸亮介が今季初のポールポジション! 「全力を出し切って真っ先にゴールしたい」



岩戸亮介

40分間の1セッションで争われるST600クラスの公式予選。当初から1分31秒762をマークして岩戸亮介がトップに立つ。2番手には31秒820で榎戸育寛。32秒320のチャランボン・ボラマイ、32秒333でデチャ・クライサー、前田恵助、中山真太郎と続く。セッションの序盤に前田が32秒193までタイムアップして3番手に食い込み、前半の攻撃は一旦終了する格好となった。

後半のセッションでは、チャランボンが32秒201までタイムを刻むが、ポジションを変えるには至らず。結局、大きな順位の変動はなく、岩戸が昨年のSUGO大会以来となるポールポジションを獲得した。2番手に榎戸、前田、2列目はチャランボン、デ

チャ、中山の順で終了した。なお、その後デチャ・クライサーに10グリッド降格のペナルティが科されたため、2列目はチャランボン、中山、亀井雄大の順となった(以下繰り上がり)。



榎戸育寛



ポールポジション:1分31秒762
#8 岩戸亮介
Team 高武 RSC

『事前テストからあまり天気が良くなって、ドライを十分に走れていなかったのですが、マシンのセッティングはだいたい決まっていたので、最近理想としている自分の走り方を追求しようと予選に臨みました。その走りが徐々に形になってきて、この予選で結果となったので良かったと思います。決勝レースに向けては、守るものは何も無いという気持ちで、全力を出し切って真っ先にゴールしたいですね』

J-GP3
ALL JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP
QUALIFYING PRACTICE
REPORT & INTERVIEW

栗原佳祐が今季2度目のポールポジションを獲得! 「高いモチベーションを持って、理想のレースをしたい」



栗原佳祐

雲に覆われているものの、雨は上がり、路面は乾きつつあるコンディションの中、土曜日最初のJ-GP3クラスの予選セッションが始まった。当初は1分44秒〜45秒台だった上位陣のタイムも、セッションが進み路面状況が改善されて行く中で更新されていく。中盤頃には佐野優人が41秒030でトップ、伊達悠太、長谷川聖、宇井陽一らも41秒台でそれに続く。

さらに栗原佳祐が39秒803に入ると、伊達が39秒164をマークするなど、上位陣は周回毎にタイムを削ってくる。その中でも栗原は残り10分で真っ先に38秒台に入れた後もタイムを周回毎に縮めてくる。伊達、古市右京、徳留真紀、菊池寛幸、太田虎之進らも38秒台にいれてくるが、栗原はさらに37秒353までタイムアップ、そして最終的には36秒879

をマークして、開幕戦筑波以来となる今季2度目のポールポジションを獲得した。伊達は37秒383と追従するが2番手、3番手には徳留が37秒459で続いた。4番手からは古市、太田、菊池の順で並んだ。



伊達悠太



ポールポジション:1分36秒879
#634 栗原佳祐
MuSASHi RT ハルク・プロ

『ハーフウェットは得意ではないのですが、最初からドライでいこうと決めていました。タイヤはユーズドのままだったので、ニュータイヤに替えてさらにタイムアップする機会は逃してしまい、その中でも明日のためにはいい予選セッションだったと思います。決勝レースに向けては、高いモチベーションを維持して、自分の目指す理想のレースをしたいですね』

MFJ Superbike Round5

25 - 26 June 2016 公式予選結果



●予選:天候/曇り 路面/セミウェット 出走27台
●決勝スタート/13:20 (120miles-52周/194km)

Pos.	No.	Name	Team	Machine	BestTime
1	1	中須賀 克行	YAMAHA FACTORY RACING TEAM	YZF-R1	1'26.801R
2	26	渡辺 一樹	TeamGREEN	ZX-10R	1'27.258
3	12	津田 拓也	ヨシムラスズキシェラルアドバンス	GSX-R1000L6	1'27.519
4	87	柳川 明	TeamGREEN	ZX-10R	1'27.941
5	7	野左根 航汰	YAMALUBE RACING TEAM	YZF-R1	1'27.958
6	104	山口 辰也	TOHORacing	CBR1000RR	1'28.051
7	634	高橋 巧	MuSASHI RT ハルク・プロ	CBR1000RR	1'28.547
8	71	加賀山 就臣★ 浦本 修亮	Team KAGAYAMA	GSX-R1000	1'28.594
9	85	中富 伸一	HITMAN RC甲子園ヤマハ	YZF-R1	1'28.684
10	15	藤田 拓哉	YAMALUBE RACING TEAM	YZF-R1	1'28.700
11	090	秋吉 耕佑	au&テレル・Kohara RT	CBR1000RR	1'29.041
12	39	酒井 大作	Rosetta Motorrad39	S1000RR	1'29.229
13	32	今野由寛★ Joshua Waters	Moto Map SUPPLY	GSX-R1000	1'29.358
14	135	児玉 勇太 Gines Mathieu★	TeamTras135HP	S1000RR	1'29.698
15	35	Lim Hogen 星野 知也★	Rosetta Motorrad39 KOREA	S1000RR	1'29.870
16	21	須貝 義行 濱原 慎道★	チームスガイレージングジャパン	RSV4	1'30.676
17	18	中津原 尚宏	オートテクニックススポーツPGR	CBR1000RR	1'30.698
18	14	武石 伸也★ 中本 郡	SYNCEDGE 4413 Racing	S1000RR	1'30.823
19	83	Corey Turner	TEAM JP DOGFIGHT R AU	YZF-R1	1'31.137
20	57	片平 亮輔	RSGracing+MCR	CBR1000RR	1'31.782
21	37	中村 知雅	H.L.O RACING	GSX-R1000L3	1'33.222
22	539	高田 昂男★ 坂本 弘正	北海道サベダー	CBR1000RR	1'33.315
23	27	原田 洋孝 中山 智博★	RS-ガレージハラダ姫路	ZX-10R	1'33.431
24	52	佐藤 宏司★ 長嶋 修	大道建設 モータルファ	GSX-R1000	1'33.640
25	51	声名 秀美	51ガレージ太平楽	CBR1000RR	1'34.603
26	36	森 健祐★ 鹿内 新平	HondaブルーヘルメットMSC熊本	CBR1000RR	1'34.704
27	29	菊地 敦	TEAM・WILD☆HEART	CBR1000RR	1'35.228
----- 以上予選通過 -----					
	72	高橋 裕紀	MORIWAKI RACING	CBR1000RR	リタイア

予選通過基準タイム (115%) 1'40.272 ★印はベストタイムをマークしたライダー



●予選:天候/曇り 路面/ウェット 出走23台
●決勝スタート/10:10 (20周)

Pos.	No.	Cls.	Name	Team	Machine	BestTime
1	634		栗原 佳祐	MuSASHI RT ハルク・プロ	NSF250R	1'36.879
2	31	y	伊達 悠太	BATTLE FACTORY	NSF250R	1'37.383
3	36		徳留 真紀	CLUB PLUSONE	NSF250R	1'37.459
4	7		古市 右京	KTM RACING.ASPIRATION	RC250R	1'37.824
5	45	y	太田 虎之進	CLUB PLUSONE	NSF250R	1'38.071
6	12		菊池 寛幸	H43 Team-NOBY&ウイリー	NSF250R	1'38.075
7	410		宇井 陽一	41Planning	TR004	1'38.403
8	32	y	佐野 勝人	犬の乳酸菌/プリミティブR.T	PRCS3a	1'38.459
9	13		岡崎 静夏	UQ&テレル・KoharaRT	TSR3	1'38.796
10	11	y	関野 海斗	Team P. MU 7C	NSF250R	1'38.811
11	33	y	長谷川 聖	CLUBY's☆ BATTLE☆J	NSF250R	1'39.077
12	24		畑中 要	FTR・タイヤナビ・藤藤住宅	NSF250R	1'39.130
13	28		野澤 秀典	ノザワレーシングファミリー	NSF250R	1'39.395
14	53		岡田 祐一	RH松島フーズNTR丸和会	NSF250R	1'39.456
15	10	y	船田 俊希	FLEX Racing TEAM	NSF250R	1'39.508
16	41	y	佐藤 励	41Planning	NSF250R	1'39.592
17	58		三好 菜摘	オーテック・スズカ+RGニフ	NSF250R	1'40.054
18	52		大塚 浩二	ホワイトレーシング+YERC	NSF250R	1'41.699
19	15		川原 英美	41Planning	NSF250R	1'41.891
20	99		白石 玲菜	Team Reina with O-TEC SUZUKA	NSF250R	1'41.989
21	54		佐藤 正之	CLUBNEXT&MOTOBUM	TSR3	1'42.330
22	85		平子 剛志	クルーズレーシングチーム	NSF250R	1'42.740
23	18		山本 恭裕	チームライフ・ドリーム北九州	NSF250R	1'44.432
----- 以上予選通過 -----						
	8		安村 武志	犬の乳酸菌/プリミティブR.T	PRCS3c	出走せず

予選通過基準タイム (110%) 1'46.567 ※y=ユースカップ



●予選:天候/曇り 路面/ドライ 出走32台
●決勝スタート/15:15 (20周)

Pos.	No.	Name	Team	Machine	BestTime
1	8	岩戸 亮介	Team 高武 RSC	CBR600RR	1'31.762
2	9	榎戸 育寛	MOTO BUM HONDA	CBR600RR	1'31.820
3	5	前田 恵助	伊藤レーシングGMDスズカ	YZF-R6	1'32.193
4	65	Chalermpol POLAMAI	Yamaha Thailand Racing Team	YZF-R6	1'32.201
5	19	中山 真太郎	TEAM しんたろう with KRT	CBR600RR	1'32.911
6	43	亀井 雄大	Honda鈴鹿レーシングチーム	CBR600RR	1'32.915
7	20	清末 尚樹	RS-ITOH	ZX-6R	1'32.985
8	73	名越 哲平	MuSASHI RT ハルク・プロ	CBR600RR	1'33.026
9	14	伊藤 和輝	UQ&テレル・KoharaRT	CBR600RR	1'33.181
10	52	岡村 光矩	RS-ITOH&FA.com保険職人	ZX-6R	1'33.414
11	85	松崎 克哉	RS-ITOH&能塚	ZX-6R	1'33.476
12	23	津田 一磨	AKENO SPEED・YAMAHA	YZF-R6	1'33.539
13	40	山元 聖	51ガレージチームイワキ	YZF-R6	1'33.544
14	46	星野 知也	TEAM PLUSONE	CBR600RR	1'33.904
15	2	Decha KRAISART	Yamaha Thailand Racing Team	YZF-R6	1'32.333
16	76	和田 留佳	RS-ITOH&サンタバイク	ZX-6R	1'33.997
17	39	中村 豊	MOTO BUM HONDA	CBR600RR	1'34.025
18	37	鈴木 力	MOTO BUM HONDA	CBR600RR	1'34.629
19	44	松川 泰宏	MOTO BUM+SAI	CBR600RR	1'34.723
20	28	北岡 慎也	伊藤レーシングGMDスズカ	YZF-R6	1'34.727
21	99	渡部 裕貴	RT森のくまさん佐藤塾&ガレージL8	YZF-R6	1'34.843
22	51	宗和 孝宏	51ガレージチームイワキ	YZF-R6	1'34.925
23	42	名越 公助	GBS-レーシング マツエ7 YAMAHA	YZF-R6	1'34.961
24	27	森中 忍	GBSレーシング YAMAHA	YZF-R6	1'35.024
25	67	堀 政則	フクダテクニカ&db-TECH	F3-675	1'35.273
26	41	田所 隼	TEAM PLUSONE	CBR600RR	1'35.283
27	35	櫻井 賢一	HondaDream高崎B'WISE RT中央前橋	CBR600RR	1'36.034
28	106	大野 英樹	B'DASH106 Snail Racing.	ZX-6R	1'36.075
29	50	佐藤 道夫	GBS-レーシング YAMAHA	YZF-R6	1'36.079
30	705	黒川 武彦	保険職人SPEEDParty	ZX-6R	1'36.527
31	31	澤村 俊紀	HondaDream高崎B'WISE RT中央前橋	CBR600RR	1'36.930
32	60	宮脇 寿郎	ファイヤーワークス北関東SPEED Party	ZX-6R	1'38.516
----- 以上予選通過 -----					

予選通過基準タイム (110%) 1'40.938



●予選:天候/曇り 路面/セミウェット 出走26台
●決勝スタート/11:15 (20周)

Pos.	No.	Name	Team	Machine	BestTime
1	2	生形 秀之	エスバラストリームレーシング	GSX-R MFD6	1'30.297R
2	94	浦本 修亮	Team KAGAYAMA	GSX-proto71	1'30.331R
3	46	日浦 大治朗	MORIWAKI RACING	MD600	1'30.718
4	44	関口 太郎	MISTRESA with HARC-PRO.	HP6	1'30.870
5	634	水野 涼	MuSASHI RTハルク・プロ	HP6-q	1'31.142
6	11	井筒 仁康	WILL-RAISERacingRS-ITOH	ZX-6R	1'31.159
7	70	岩崎 哲朗	OGURAclutch with パワービルダー	ZX-6R	1'31.261
8	8	大木 崇行	MOTO BUM+虎の穴	CBR600RR	1'31.269
9	81	上和田 拓海	Webike チームノリックヤマハ	YN6	1'31.391
10	15	作本 輝介	Team 高武 RSC	MD600	1'31.515
11	090	渥美 心	au&テレル・Kohara RT	TSR2	1'31.602
12	74	三原 杜紫	H43 Team-NOBBY	HP6-q	1'31.721
13	17	石塚 健	WILL-RAISERacingRS-ITOH	ZX-6R	1'31.795
14	55	國峰 琢磨	H43 Team-NOBBY	HP6-q	1'32.054
15	21	中本 翔	リリカAMENA with OUTRUN	YZF-OR6	1'32.120
16	10	佐藤 太紀	au&テレル・Kohara RT	TSR6	1'32.292
17	392	長尾 健吾	ミクニ テリー&カリー	GSX-R600	1'32.309
18	56	中本 郡	SYNCEDGE 4413 備前精機	HP6	1'32.823
19	39	柴田 陸樹	RS-ITOH&AUTOBOY	ZX-6R	1'32.907
20	45	古山 頌太	MotoPod&YSP名古屋西	YZF-R6GK	1'33.089
21	25	小口 亘	ALLMAN&OWRACING	YZF-OWR6	1'34.760
22	32	Max Croker	チームヨシハル&K1Racing	FTR	1'34.810
23	27	関一正	T.R.P.	YZF-R6	1'34.868
24	30	高橋 颯	CLUB PLUSONE	HP6	1'35.132
25	19	赤間 清	MISTRESA with HARC-PRO.	HP6	1'35.762
26	26	小口 理	ALLMAN&OWRACING	YZF-OWR6	1'36.537

----- 以上予選通過 -----

予選通過基準タイム (110%) 1'39.327

※"R"マークの車両は、コースレコードを更新しました。従来のコースレコードは1'30.608

INFORMATION



番組タイトル一新! 2輪・4輪全ての
モータースポーツファン向け帯番組

●無料BSチャンネル「BS12 トゥエルビ」で「シリーズ全戦を放映!

●JP250「MFJカップシリーズ」全6戦のダイジェストを単独番組で3回放映!

★詳しい放映スケジュールはファンサイトで! (スケジュールが変更されています)

■第5戦SUGOスーパーバイク120マイル耐久レース
放映スケジュール

7月2日(土) 19:00~19:54



大きく変わるインターネットライブ中継!



サーキットの場内監視(ポスト)映像に外部カメラ映像をプラスし、新システムで「MFJライブチャンネル」にて配信。より充実した中継配信を目指します。※通信環境によりディレイ配信となる場合もあります

YouTube

YouTube「MFJ SUPERBIKEオフィシャルチャンネル」では、予選・決勝直後のライダーインタビューを中心に、全日本ロードレースの迫力を動画にて配信!

詳しくはファンサイトで → <http://superbike.jp/>